

窓口負担登録2万超に

政府マイナポイント検査本部に公表

患者が払った医療費の窓口負担割合がマイナンバーカードなどで確認する「オンライン資格確認システム」に誤って登録されている問題で、政府は12日「マイナンバー情報総本部」に、新しく1万件の誤登録が見つかり修正したと公表しました。厚生労働省が月末に公表していくたまごの件と合わせると、判明した負担割合の誤登録は2万件以上ります。

窓口負担登録の誤登録題は、本紙が千葉市国民健康保険の事例を報道(7月4日付)。これを受け同市長が誤りを認めました。厚労省は「千葉市の公表で

「いつづけ」とあると分かった」(保健局高齢者医療課)としています。

厚労省は9月末、誤登録の発生原因を8類型に分け、約3400の全保険者に同様の事例がないか点検し回答するよう求めています。システム仕様などによる誤登録を防ぐため、10月以来原則今度中に、保険者システムの改修を行なっています。

しかし厚労省が求めた点検は、8類型の「全ての事象について、正しい事務処理が行われていた」または「同様の事象が生じ得るシステムになっていた」(負担割合等の誤りなし)と保険者が

上、点検するかどうかは未解説です。
岸田文雄首相は回した保険証の利用率が5%を切らなと国際の不安は払しょくされていません。そもそも8類型以外の原因で誤登録が起きていないのか不明で、問題の全容

は未解説です。
岸田文雄首相は回した保険証の利用率が5%を切らなと国際の不安は払しょくされていません。政府は現行の保険証廃止方針を撤回し、存続せねばなりません。

ンバーカードと一体化